



木更津市立木更津第二中学校
〒292-0801 千葉県木更津市請西941番地
☎0438(36)2280 FAX0438(36)2233
E-mail:kisarazu2-j@kisarazu.ed.jp
<https://www.fureai-cloud.jp/kisa-kisarazu2-j>



木二中 学校だより 令和8年3月16日
No.43/128 校長 山元 竜二

眼光、紙背に徹す(がんこう、しはいにてっす)

令和7年度学校便り「CLIMAX」も今年度は残すところあと2本。年間を通じてご覧いただきありがとうございます。私が校長としてこの木更津第二中学校に着任して以来、週に一度のペースでお便りを発行してきましたが、来週が今年度最終号の第44号、通算すると129号となります。

教員に限らず千葉県内外において活躍する私の教え子たちもこのお便りを毎週楽しみにしていることから、PWをかけずに本校HPにアップしています。

令和5年度版「INSIDE-OUT No. 03」で、お便りを受け取る対象に応じてその「意義と役割」も様々になり、掲載する内容によっては「生徒向け」であったり、「保護者向け」であったりする場合があります、とお伝えたとおり、情報発信の他に私自身が木二中学生徒と過ごす日々の生活の中で感じたことや生徒への思いなども合わせて綴らせていただいているところです。時に生徒にとっては難しい内容である場合もありましたが、極力中学生でもわかりやすく、そして中学生としての考えを深められるよう、工夫をして作成してきましたつもりです。掲載した内容によっては、「校長先生、読みましたよ！」と声をかけてくれる生徒もいて、一人でも読んでくれる生徒がいる限り、私の思いを言葉にかえて紡いでいこうと考えています。

さて、冒頭の「眼光、紙背に徹す」(がんこう、しはいにてっす)という漢文、実は、CLIMAX No. 40/125でお伝えしたドラマ「VIVANT」の中で、堺雅人さん演じる乃木憂助が、バルカに向かう機内で警視庁公安部外事第4課に勤める野崎守(阿部寛さん)に託したもの。この漢文が公安である野崎守に対する「暗号」のような役割を果たし、誰もが予想もできない展開へと発展していくのですが…。

この漢文の前にはもう一つ漢文があって、「あなたは、鶏群の一鶴(けいぐんのいっかく)…、眼光、紙背に徹す」というのがこのシーンの台詞全文。「鶏群の一鶴」とは、ニワトリの中に一羽の鶴がいるように、一人だけ際立って優れた人、目立つ存在であるということの意味しています。表には決して出ることのない諜報部隊「別班」の乃木憂助から見ても野崎は公安として特に優れた人物だったのでしょう。

では、「眼光、紙背に徹す」とはどういう意味かわかりやすく言うと、表面上の意味だけでなく、背後にある真意も読み取ることで、読解力が鋭いということの意味します。

私がテレビドラマの原作者のように、お便りの中に伏線をちりばめたり、その伏線を回収したりと、そんなつもりで書いているわけではありませんが、「ん？この内容は誰に向けているのかな？」とか、「このお便りを通じて校長先生が一番伝えたいことは何か？」とか、あるいは、「校長先生、敢えて逆のこと言っていないか？」、「校長先生、直球で伝えているな」など、書いている私の真意を読み取ろうとしてみてください。なぜかと言うと、お便りの内容がもしかしたら深い理解に繋がるかもしれないし、これまでとは異なった視点で物事を見ることができるようになるかもしれないからです。

これまでも様々なテーマでお便りを書いてはきましたが、それぞれのテーマを通じて誰に、どんな事を、そしてどんな思いを伝えようとしているのか、「眼光、紙背に徹す」ような思いで読むと、読解力も高まるのではないかと考えます。

週に一度の発行なので、毎週毎週、掲載する内容を考えるのは大変ではないかとよく言われますが、日々感じる事が多分にあるだけでなく、自分自身にとってもお便りを書くことで様々な分野にまで見聞を広めることに繋がるので、とても勉強になっています。このCLIMAX No. 43/128も、1月22日に書いています。

来週CLIMAX No. 44/129が今年度の最終号。私自身に異動がなければ、令和8年度も週に一度のペースでお便りを発行し、日々感じる事、校長としての思い、生徒たちへのエールなどを記していきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひします。